

感染症・疫学情報課(平成 18 年度)

◇ 感染症情報関係

(1) 感染症情報解析のためのデータベース構築

市内 183 か所の患者定点医療機関からの感染症患者情報や市内 17 か所の検査定点医療機関からの病原体分離情報等よりデータベースを構築し、感染症流行状況の解析に活用した。

(2) 感染症発生動向調査事業

ア 感染症発生動向調査情報の収集・解析・提供

地方感染症情報センターとして、市内で発生した、法で定められた感染症の情報を収集し、中央感染症情報センターに報告している。

市内の感染症の流行状況を早期に把握し、的確な予防対策を講じることを目的とした感染症発生動向調査を、健康福祉局感染症課と共同して行った。市内 183 か所の患者定点医療機関から受けた感染症患者情報を収集し、衛生研究所の代表及び専門家等による横浜市感染症発生動向調査委員会で解析を行い、市民・医療機関等を対象に、インターネット(URL:<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/>)、電子メール、FAX 等を用いて情報提供を行った。

また、市内の感染症発生状況をとりまとめ、「横浜市感染症発生動向調査事業概要 平成 17 年(2005 年)」を発行し、定点医療機関、地方衛生研究所等の関係機関に配付した。

イ 市内の感染症発生状況

平成 18 年における市内の主な感染症の発生状況について簡単にまとめた。

インフルエンザの平成 18 年～19 年冬季の流行については、B 型と A 香港型が主体で、流行開始が 1 月下旬でピークが 3 月上旬と、どちらも最近 5 年間で最も遅かった。また、ピーク値は報告定点あたり 26.80 だった。

咽頭結膜熱については、立ち上がりが 5 月と早く、流行が長期にわたったのが特徴で、ピーク値が 1.76 と、平成 15 年、16 年と並んで大きな流行が見られた。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、ピーク値が 2.76 と、最近 5 年間で最も大きな流行であった。

感染性胃腸炎については、年末にノロウイルス感染症が大流行したこともあり、ピーク値が 29.63 と、最近 5 年間で最も大きな流行であった。

手足口病は、通常夏に流行が見られるが、平成 18 年に関しては、夏に大きな流行がなかったかわりに、秋まで患者発生が続き、ピークは 10 月上旬と例年より遅かった。

流行性耳下腺炎は、長期にわたり高い値が続いていたが、8 月中旬以降は例年並に落ち着いた。

◇ 疫学情報関係

(1) 公衆衛生情報の収集・解析・提供

ア インターネット情報の提供

O157を始めとする新興・再興感染症の発生状況等を市民に速やかに分かりやすく提供するため、平成10年3月に衛生研究所のWEBページを開設した。平成18年度のホームページ・総アクセス数は2,833,654件であった(表1)。

年間のアクセス数を項目別にみると、感染症情報がおよそ3分の2を占めていた。月別のアクセス件

数は、平成19年1月に最も多く354,348件であった。これは、1月に「ブルセラ症について」のアクセス件数が144,661件と多かったためだと考えられる。年間アクセス順位では、「マイコプラズマ肺炎について」(178,103件)が1位であった。

また、利用者からのE-メールによる問い合わせ93件に対応した。問い合わせ内容の主な内訳は、感染症関連52件(55.9%)、食品衛生関連16件(17.2%)、生活衛生関連7件(7.5%)であった。

なお、アクセス数については行政運営調整局IT活用推進課から提供されたデータを基に集計した。

イ オンライン情報検索システムの運用

試験検査、調査研究等の業務を円滑に進めていくためには、日頃から関連する専門書や学術雑誌、学会発表資料等の情報収集が必要不可欠となっている。

これらの情報収集のために独立行政法人・科学技術振興機構(Japan Science and Technology Agency、JST)が提供しているJOIS(JST Online Information System)とSTN(The Scientific and Technical Information Network)を利用して、科学技術文献の検索を行った。

平成18年度の情報検索利用件数は23件であった。

これらの情報検索から得られた情報は、当所が行う試験検査・調査研究等に役立てられているほか、健康福祉局・各区福祉保健センター等からの問合せ、照会等に対しても活用されている。

ウ 蔵書検索システムの運用

平成18年度の購入図書は和書14冊であった。したがって、蔵書総数は、和書3,779冊、洋書280冊となった。

エ 「横浜市保健・医療・福祉研究発表会」の運営に関する業務支援

平成18年8月24～25日に行われた第41回横浜市保健・医療・福祉研究発表会において、プレゼンテーションに係わる技術的支援を行い、運営に協力した。

オ 公衆衛生に関する正しい知識の普及啓発

平成18年6月2日の施設公開において、体験コーナー「知ってびっくりあなたの健康年齢」を設け、市民に対して生活習慣病の予防に関する普及啓発活動を行った。

(2) システム保守とソフト開発

ア LANの管理

横浜市庁内LAN(YCAN)に接続されている当研究所のLAN(EIKEN; サーバ3台、クライアント約80台)の運用・管理を行った。

イ コンピュータのトラブルへの対応

LANで使用されているパソコン、及び周辺機器、更にアプリケーションソフト等のトラブルに対して技術的支援を行った。

(3) 検査情報月報の編集・発行

当所で行った試験検査、調査研究の結果を情報提供する目的で、毎月1回「検査情報月報」を編集し、関係機関42か所(124部)に発行した。また、本誌の一部をインターネットにより公開した。

表1 衛生研究所ホームページの月・項目別アクセス件数

(平成18年)

	18年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
概要	2,539	3,291	2,981	2,607	2,293	3,223	2,881	2,468	3,007
トピックス	1,567	2,243	2,244	2,142	1,813	2,349	2,073	2,482	4,601
感染症	150,666	155,301	141,997	144,186	119,025	134,029	148,531	165,691	199,732
保健情報	12,821	18,124	15,268	15,557	14,984	14,221	49,782	29,520	15,423
食品衛生	32,129	36,861	34,592	48,990	37,984	35,176	34,042	33,691	31,681
生活環境衛生	3,335	5,669	7,106	7,644	6,502	9,044	5,358	4,690	4,267
検査情報月報	3,779	6,527	5,155	6,048	5,286	9,913	10,136	9,257	10,798
その他	9,827	10,940	12,385	10,270	11,519	13,272	11,398	10,140	13,300
合計	216,663	238,956	221,728	237,444	199,406	221,227	264,201	257,939	282,809

	19年1月	2月	3月	合計	割合(%)
概要	2,382	1,925	1,799	31,396	1.1
トピックス	3,562	2,666	2,828	30,570	1.1
感染症	275,245	106,408	109,989	1,850,800	65.3
保健情報	19,246	11,056	10,379	226,381	8.0
食品衛生	28,662	23,100	27,106	404,014	14.3
生活環境衛生	4,648	4,346	3,522	66,131	2.3
検査情報月報	9,574	7,704	7,579	91,756	3.2
その他	11,029	9,948	8,578	132,606	4.7
合計	354,348	167,153	171,780	2,833,654	100.0

データ提供:行政運営調整局IT活用推進課